

府中市のオリンピック・パラリンピック教育等について

本市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を、子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉えたオリンピック・パラリンピック教育を全市立学校で実施しています。

1 基本的な視点

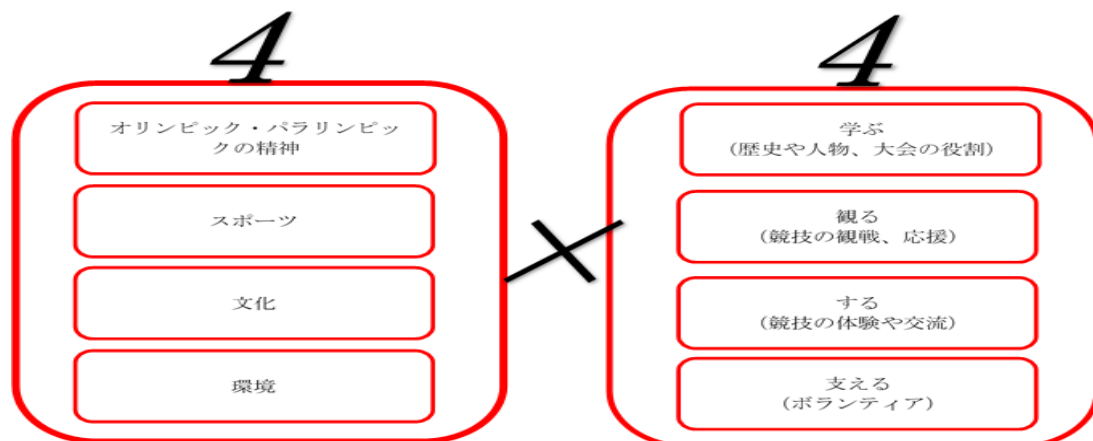
- (1) 全ての子供が大会に関わる
 全ての子供が、オリンピック・パラリンピックに何らかの形で関わり、それらを通して、オリンピック・パラリンピックの価値や意義を学ぶ機会を創出します。
- (2) 体験や活動を通じて学ぶことを重視する
 子供たちがオリンピック・パラリンピックについての知識を学ぶだけでなく、実際に体験や活動することを通じて学びを深めていくことを重視します。
- (3) 計画的・継続的に教育を展開する
 東京2020大会と、更にその先を見据え、計画的・継続的に教育を展開していきます。

2 取組の概要

オリンピック・パラリンピックを全ての教育活動の様々な教育実践に関連付け、学校全体で組織的・計画的に展開します。

(1) 基本的な枠組み 4×4の取組

「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の4つのテーマと、「学ぶ」「観る」「する」「支える」の4つのアクションを組み合わせた取組（「4×4の取組」）を推進します。



(2) 育成すべき資質

4×4の取組を推進する中で、5つの資質を重点的に育成します。

- ・ ボランティアマインド
- ・ 障害者理解
- ・ スポーツ志向
- ・ 日本人としての自覚と誇り
- ・ 豊かな国際感覚

3 具体的な取組

(1) 「4×4の取組」の視点に基づく授業を実施します（年間35時間程度）。

(2) オリンピック・パラリンピック参加予定国・地域について幅広く学び、学んだ地域との交流へ発展させることを目指します。（世界ともだちプロジェクト）
市立小中学校全校で、本市がホストタウンとして登録されたオーストリア共和国、オーストラリア連邦の二か国を追加し、今後も2か国にまつわる取組を実施する予定です。

(3) オリンピアン・パラリンピアンなどのアスリートとの交流や外国人との異文化交流、日本の伝統文化を学ぶ機会を創出します。（夢・未来プロジェクト等）
「YOKOSO プログラム」

夢・希望・感動との出会いやスポーツへの親しみを促進し、自己実現に向けての努力や困難に立ち向かう意欲等を育成することをねらいとして、特別講演、競技紹介、実技指導等を実施します。

指定校：府中第九小学校 新町小学校 四谷小学校 南町小学校

「Welcome プログラム」

外国人アスリートとの交流を通じた国際理解の推進、スポーツへの関心の向上等をねらいとして、外国の文化・習慣の紹介、スポーツを通じた交流、おもてなしの実践等を実施します。併せてマナー講座の講師を派遣し、外国人に対する挨拶や日本文化の紹介方法等を実践的に演習します。

指定校：府中第七小学校

(4) パラリンピック競技を観戦することや、実際に体験すること、競技大会の運営ボランティアとして参加すること等を通じて、児童・生徒のパラリンピック競技に対する興味・関心の向上、理解の促進を図るとともに、取組成果を他校へ普及・啓発します。（パラリンピック競技応援校）

指定校：府中第八小学校 応援種目：車いすバスケット

(5) オリンピック・パラリンピック教育のテーマの一つである「環境」に関する取組を一層充実させ、取組の成果を他校等に普及・啓発します。

アワード校（環境部門）：府中第十小学校

(6) その他 実際の取組については、別紙をご参照ください。

4 ラグビーワールドカップ2019に向けて

(1) 市立小学校では、府中市小学生タグラグビー大会「フォーリスカップ」への参加をラグビーに親しむ機会としています

平成29年度は18校、64チーム、児童556名が参加しました。

(2) 東芝ラグビー部の選手たちが市立学校に赴き、体育指導の一環としてタグラグビーの指導をしていただいております。

(3) 市立中学校では生徒会が中心となり、大会本番期間中での「おもてなし」の取組について検討に入ったところです。